

松井克浩の Twitter 2022 年 5 月 (抜粋)

今月の「つぶやき」を抜粋で集めました。

【4 月 28 日】

[今月の Twitter 2022 年 3 月 \(抜粋\)](#)

【4 月 29 日】

[公益法人の正味財産増減計算書が活動計算書に変わったら、どうなる？](#) | 大阪の企業会計の主治医

活動計算書として名称も内容も変わりますが、一朝一夕に切り替えることはできません。



【4 月 30 日】

「『果報は寝て待て』ではなく、『練って待て』と心得たいものです。」

【5 月 1 日】

「正しいことを言う人は煙たがられる」

【5 月 3 日】

社会福祉法人の皆様、社会福祉法の改正後、運営環境が激変しています。さらにコロナ対応が加わりました。なおかつ会計担当者は他の職務も兼務する場合もあり、日々の業務に追われています。

お困り事がありましたらご連絡ください。

【5 月 4 日】

公益法人、移行法人の皆様、定期提出書類の作成にお困りではありませんか。

経理知識とは別に、特別の知識がなければスムーズに作成することは困難です。適正な書類作りをお手伝いします。

【5 月 5 日】

[子ども医療費助成の未来](#)

ある保育園園長先生の言葉です。

「人は全面的に受容される期間が長いほど、安心して自立していけるものだということに、日々思いを深めています。ありのままの自分を認知されるということは、子どもに『私はこのま

までいいんだ』という安心感を与え、安心感を得ることで自信を持てるようになります。」

【5月6日】

釣り具のノウハウを介護機器に。釣りざおのしなりやライフジャケットの縫製等釣り具製造の技術を生かして介護ロボットを開発中です。歩行や自立が困難な要介護者の排せつ動作を補助。

省力化につながるし、要介護者は人目を気にせずにするため介護業界から大注目。

【5月7日】

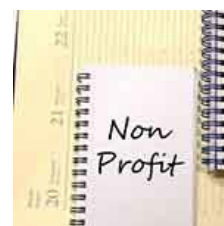
「孤独こそ自分の人生を豊穡にする最良の土壌となる。みんなから愛される努力など必要ない。社会的な人間になろうとするのはムダな努力だ。」

【5月8日】

「感情”はシンプルであるのに対し、”思考”は複雑だ。逆に考えてはいけない。」

【5月9日】

[魚介の高騰](#)



【5月10日】

[NPO 法人に特有の取引に関する会計処理の解説](#) | 大阪の企業会計の主治医

特有の取引に関して、どんな場合にでも会計処理を求めているわけではありません。「注記による説明」も「活動計算書での開示」も考えられます。

【5月11日】

IT 活用により介護現場の負担を軽減。ロボットやセンサーを使い少ない介護者でも質を維持しながらサービスを提供する仕組みを厚労省が検討中です。

単に省人化が目的ではなくセンサー等でデータを集め分析することで最適なケアプラン作り。事業者にはIT 導入のインセンティブを設けることが重要。

【5月13日】

バス会社の再編。路線バスのダイヤ調整や料金施策など周辺事業者と連携して路線を維持する計画作りを国交省が支援します。

バス路線は直近の10年間で1.2万kmが廃止されています。一方で鉄道の赤字路線はバスへ代替。コロナ後を見据えて持続可能な地域交通の構築が求められます。

貼りつけた画像を開いて「+」をクリック。

展開して解説をお読みください。

【[相続により父親の事業を承継した場合の課税売上高](#)】

「自身の基準期間の課税売上高は 1,000 万円以下であったので、納税義務はないと判断していいか？」



【5月14日】

「新しいことに気づく感性さえあれば、同じことの繰り返しのような日常の中にキラキラ輝くものが見えてきます」

【5月15日】

「好きな人とだけ本気で付き合う」

【5月16日】

[マッチを擦る](#)

ヤングケアラー。親の介護をしたり、病気の親に代わって祖父母や兄弟姉妹の介護をしたりする 18 歳未満の子供のことです。悩みを相談する相手がいない場合が多いことが問題。介護対象者の病状や周囲の大人との関係次第では本人の負担が重くなり、学校生活や進学、将来に影響します。

【5月17日】

[同族会社における資本取引・自社株式承継・清算のポイント](#) | 大阪の企業会計の主治医

同族会社における増減資は、株主側にみなし譲渡やみなし配当の問題が生じることが考えられます。



【5月18日】

[コインパーキング業者へ土地を貸すと、駐車場業を営んでいることになるのか？](#)

デジタル教科書への全面移行見送り。文科省は 2024 年度に本格導入する際に紙の教科書と併用する方針を固めました。2021 年度から全国の半数の小中学校で実証事業を始め、効果的な使い方を模索。

デジタル教科書が普及しない一因として、費用は自治体が負担することが挙げられます。

【5月19日】

障害者向け水害ハザードマップの深堀。作成済みの自治体でも障害者団体と連携して取り組んだケースは稀です。「対策に当事者の視点を入れる」のは容易にはできません。関係者は、点図にする範囲を狭め情報量を絞り込む等かなりの工夫が必要と言います。

【5月20日】

FAQ【土地譲渡所得】

『[固定資産税精算金と譲渡価額](#)』

【5月21日】

「心が虚しくなった時、じっとしていずに体を使うとかなり気分が落ち着いてくる」

【5月22日】

「自分の居場所は自分でつくる」

【5月24日】

成年後見制度の利用促進。成年後見制度は2000年に始まりましたが利用者は2020年末で23万人。同時点の認知症高齢者は631万人なので利用は限定的です。制度の周知に努力する一方で、使い勝手やコストを改善し安心して利用できる制度に改善する必要があります。

[公益法人会計基準における為替差損益の表示](#) | 大阪の企業会計の主治医

最近の低金利を反映して外貨建有価証券を保有するケースが増えています。決算時の為替相場により円換算する処理をしなければなりません。どうやって？



【5月25日】

進まない病院の自家発電機の点検。2018年の大阪府北部地震で教訓を得たはずなのに。東京都や大阪市の病院では、なお5~6割が未実施です。その理由は1台当たり百万円近く点検コストがかかるため。コロナ禍で医療にすがるなければならぬ中、停電で病院が機能不全に陥ったら・・・。

【5月26日】

銭湯絵師の格言「空3年、松10年、富士山一生」

空が描けるようになるまでに3年かかる、富士山は一生かけて極めるという意味です。

銭湯へも温泉へも長いこと行ってないなあ。